

- 1 日時 令和2年1月23日(木) 6校時
- 2 学年 第6学年 8名
- 3 単元名 「自然に学ぶ暮らし」～筆者の考えをとらえ、自分の考えと比べて書こう～
- 4 単元について

○ 本単元は、小学校学習指導要領「C 読むこと」の指導事項ウ「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかきだすこと。」を受け、事実と意見を読み取り、筆者の主張を明確にとらえ要旨にまとめ、事例と自分たちの経験を比較することを通して、自分の考えを明確にしながらかきだすことができる力をつけることをねらいとしている。

本教材は、環境問題や持続可能な社会などの観点から書かれた自然の仕組みを自分たちの暮らしに活かすことの必要性を様々な事例とともに述べている説明的な文章である。環境破壊や地球資源の限界がいわれて久しいが、その解決に向けた一つの試みとして、むしろ自然に学ぶという斬新な視点が、具体例とともに示されている。科学の力や未来の可能性、さらには自然そのものが秘めた力などにふれることで、生きる希望や科学の面白さにも気付かされる教材である。

本教材「自然に学ぶ暮らし」は、問題提起・事例・筆者の考えが順に述べられている構成になっている。自然の仕組みを自分たちの暮らしに活かすことの必要性を「シロアリの巣に学んだ空気調節」、「生き物のあわの使い方に学んだおふろの開発」、「自然の仕組みに学んだエネルギー開発の試み」の3つの事例とともに述べている。

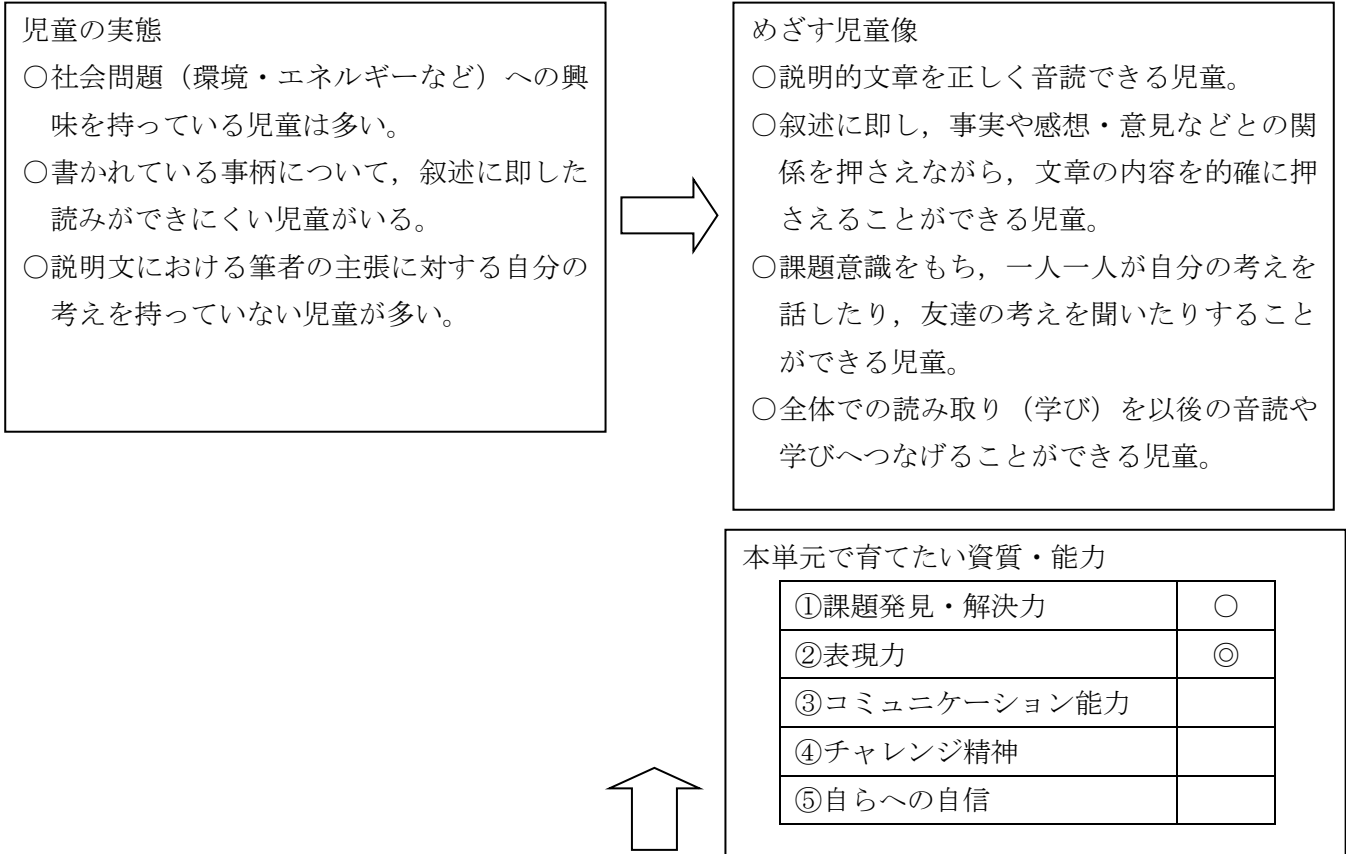
本単元では、自然の豊かさやすばらしさを感じ取らせ、自分たちの暮らしと密接に関わっていることに着目させたい。また、筆者の主張する『新しい暮らし方』とは、どのような暮らし方か課題をもち、事例を通して伝えられる筆者の考えを明確にしていく。筆者の主張する『新しい暮らし方』とは、どのような仕組みを応用しているのか、それによってもたらされる効果を読み取ることで、より筆者の主張が明確にできると考える。そして、それをもとに『新しい暮らし方』について自分の考えを述べていく。また、自然や未来の暮らしについて書かれた本の並行読書も行い、自分の経験、知識を織り交ぜながら、自分なりに『新しい暮らし方』について考えられるようにもしていきたい。

○ 本学級の児童は、これまでに説明文教材「笑うから楽しい」や「時計の時間と心の時間」の学習を通して、文章構成をとらえ、どのような事例を上げて筆者は論を展開しているか、そして、どのような主張をしているのかを読み取ってきた。また、筆者の主張や事例に対して、自分は思うかなど根拠を明確にして考えを表現することも行ってきた。環境や資源についての社会問題について緊急に考えなければならない現代において、児童がどのようにこのような問題について考え、どう行動していくのかはとても大切なことである。本教材を通して、未来の社会の在り方にも目を向けつつ、自分なりの考えを持たせていきたい。

○ 指導に当たっては、本単元を貫く言語活動「筆者の考えをとらえ、自分の考えと比べて書く」という目的意識を持って毎時間の読み取りを進められるようにしていく。その際には、筆者の挙げている事例に着目して読み取っていく。

本時においては、筆者の挙げた事例を叙述に即して読み取っていくとともに、毎時間の終わり

には、自然界の生き物が生きていくうえで行う営みをヒントとした、自然から現代社会を生きる私たちが学ぶことは何か、筆者の考えに対して、共感するかしないかの主張（考え）を持たせ、60～80字程度の文章を書かせる。また、単元の最後には、自分自身は『新しい暮らし方』についてどのように考えるのか、自分たちの生活を振り返り、経験を踏まえて自分の言葉でまとめられるようにしていきたい。



手立て

- 写真を活用し、叙述と結び付けて叙述の詳細を読み取らせる。
- 段落構成図を用いて、文章構成をつかませる。
- 単元を通して目的意識を持たせながら読み取りを進めていく。
- 読み取りにおいては、毎時間の終わりに筆者の考えに共感するかしないか、自分の考えを書くことを積み上げていき、単元のゴールの最終的な自分の考えを書かせることにつなげる。

使わせたい用語と表現

事例 根拠 理由 主張 自分の考え もしも、～が……になったら

5 単元の目標

事実と感想・意見などとの関係を押さえながら文章の内容を的確に押さえ、筆者の考えと比べながら自分の考えを明確にすることができる。

6 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	書くこと	伝国
<ul style="list-style-type: none"> 自然の仕組みを生かした暮らし方に興味を持ち、「自然に学び、新しい暮らしの在り方を考えていくこと」に対する自分の考えをもととしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事実と意見などの関係をとらえながら、筆者の主張を的確に読み取ることができる。 読み取った主張や要旨に対する自分の考えを明確に持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考えている「新しい暮らし方」がどのようなものか、百字程度にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や文末表現に着目しながら、文や文章には色々な構成があることについて理解することができる。

7 指導と評価の計画（全8時間）

次	時	学習活動	評価					評価規準	評価方法
			関・意	読む	書く	伝国			
第1次	1	「自然に学ぶ暮らし」を読み、大体的内容を捉えて、感想をもつ。 課題発見・解決力	◎	○			<ul style="list-style-type: none"> 自然の仕組みを生かした新しい暮らし方に興味や関心を持ち、「自然に学ぶ暮らし」を読んで感想をもっている。 	ノート (ワークシート) 発言	
	2	「初め」「中」「終わり」に分け、文章構成を確かめる。 課題発見・解決力		◎		○	<ul style="list-style-type: none"> 文章構成を考えながら、「初め」「中」「終わり」に分けている。 	ノート (ワークシート) 発言	
第2次	3	事例「シロアリの空気調節」について読み取る。 課題発見・解決力		◎	○		<ul style="list-style-type: none"> 事例からシロアリの巣の仕組みについてよさをまとめ、自分の考えをもっている。 	ノート (ワークシート) 発言	
	4 (本時)	事例「あわ」について読み取る。 課題発見・解決力		◎	○		<ul style="list-style-type: none"> 事例からあわの仕組みについてよさをまとめ、自分の考えをもっている。 	ノート (ワークシート) 発言	
	5	事例「小さな発電機」について読み取る。 課題発見・解決力		◎	○		<ul style="list-style-type: none"> 事例から小さな発電機についてよさをまとめ、自分の考えをもっている。 	ノート (ワークシート) 発言	

	6	「終わり」筆者の考える「新しい暮らし方」についてまとめる。 課題発見・解決力		◎	○	・筆者の考えている「新しい暮らし方」がどのようなものかまとめる。(100字程度)	ノート (ワークシート) 発言
第3次	7	筆者の主張する「新しい暮らし方」と自分の考えを比べる。 表現力			◎	・筆者の考えに対する自分の考えを,具体的な体験などと結びつけて考えている。(600字程度)	ノート (ワークシート)
	8	「新しい暮らし方」について自分の考えを発表する。 表現力	○			・お互いの発表を聞き合い,評価し合っている。	ノート (ワークシート)

8 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・筆者の挙げている事例(あわを使ったおふろ)とその仕組みに着目して,筆者の考えを読み取り,自分の考えをもつことができる。(読むこと)

(2) 観点別評価規準

- ◎筆者の挙げている事例や根拠,判断や主張に注意して,どのように論証しようとしているかを捉えている。(読むこと)

(3) 準備物

教:教科書の写真 短冊カード ワークシート

【習得している知識・技能等】

- ・「初め」「中」「終わり」の三部構成
- ・事実と感想・意見などを指し示す,接続詞,接頭語及び文末表現
- ・筆者の主張をもとに,自分の考えを持って文章に書き表す。

本時の学習を通して育てたい力

- ・文章構成を捉える力(大まかに読む・詳細に読む)
- ・筆者の主張をもとに,自分の考えを持って文章に書き表す力
- ・各段落の大事な言葉を捉え,要旨にまとめる力

(4) 本時の展開

過程	学習活動 主な発問(◎)と予想される 児童の反応(・)	指導上の留意事項(・)と「努力を要する」状況と判断した児童への支援(●)	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 前時を想起する。	・掲示物をもとに,前時までの学習を振り返る。	
	2 本時のめあてを設定する。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ◎事例②を読み取り,自分の考えと比べて意見を書こう。 </div>		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ふかめる</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめる</p>	<p>3 学習範囲を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P 1 8 3 L 4 ~ P 1 8 5 L 5 <p>4 事例②生き物のあわの使い方に学んだお風呂の開発について読み取る。(個人)</p> <p>◎どんな生き物のどのような仕組みが挙げられていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アワフキムシとベタ <p>5 事例②生き物のあわの使い方に学んだお風呂の開発について話し合う。(集団)</p> <p>◎どのような仕組みになっているのでしょうか。また、どのような良さ(効果)があるのでしょうか。</p> <p>①アワフキムシ</p> <p><利用する性質></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空気の層によって熱をにがさないというあわの性質 <p><効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気温の変化から身を守る。(保温) <p>②ベタ</p> <p><利用する性質></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表面が縮もうとするあわの性質 ・ あわが水面にうく性質 <p><効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卵がくっつく。(表面張力) ・ 太陽の光をいっぱい浴びることができ、早く卵からかえることができる。 <p><暮らしへの応用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 暖かい空気の入ったあわを作れば、あわが体を温めてくれる。 ・ はじけるときの力で身体のごれを取ってくれる。取れたごれは、あわの表面にくっつく。 ・ 少ない水量で済むお風呂が開発されれば、限りある水を大切に使うことになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前学習として、仕組み、効果(良さ)に線を引かせておく。 ・ 共感できる点、共感できない点を考えながら読ませる。 ・ 現代の暮らしへの応用についても考えさせる。 <p>●仕組み、良さ、効果、暮らしへの応用の3つの視点で叙述から読み取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の暮らしに生かされる点 = 効果(良さ)であることを確認する。 	<p>○筆者の挙げている事例(あわを使ったお風呂)とその仕組みに着目して、筆者の考えを読み取っている。(発言・ワークシート)</p>
---	---	--	--

ふりかえる	<p>6 筆者の挙げた事例に対して、自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は、筆者の考えに共感できます。アワフキムシの幼虫が行うあわの仕組みを使えば、電気をあまり使わなくても温かいお風呂に入っているかもしれないからです。 僕は、筆者の考えにあまり共感できません。ベタが行うあわの性質を利用したお風呂が開発されれば、たしかに節水にもなるし電気代も少なくてもいいかもしれないけど、快適なお風呂になるのかはまだわからないと思います。 <p>7 本時のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考えと比べて自分の考えが書けるように、共感できる点と共感できない点を明確にしながら書かせる。 書いた自分の考えを交流し合う。
	<p>㊸二つの生き物のあわの使い方から学んだお風呂の開発が進められている。</p>	
	<p>8 本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをし、次時へとつなげる。

9 板書計画

㊸二つの生き物のあわの使い方から学んだお風呂の開発が進められている。

筆者の挙げた事例に共感する？共感しない？
↓自分の考えを書いてみよう。

ベタ	アワフキムシ	例	
<ul style="list-style-type: none"> ・表面が縮もうと ・あわが水面にう 	<ul style="list-style-type: none"> ・空気層の厚さが異なる ・あわの性質 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する性質 	
<ul style="list-style-type: none"> ・卵をくつつける。 ・太陽の光をいっばい ・いっばい浴びることができ、卵から早くかえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化から身を守っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果 	
<ul style="list-style-type: none"> ・暖かい空気が入ったあわは体を温める。 ・少ない水量で済むお風呂の実用化は水を大切に使うことになる 			<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしへの応用

教材文

写真

写真

㊸事例②を読み取り、自分の考えと比べて意見を書こう。

自然に学ぶ暮らし

石田 秀輝